

DIALOG(R)File 351:Derwent WPI  
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

008564649      \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 1991-068684/ 199110

XRPX Acc No: N91-053064

**Facsimile equipment - selects operation mode in correspondence to type of  
interface unit NoAbstract Dwg 1/1**

Patent Assignee: NEC CORP (NIDE )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 3016363	A	19910124	JP 89151644	A	19890613	199110 B

Priority Applications (No Type Date): JP 89151644 A 19890613

This Page Blank (uspto)

DIALOG(R) File 347:JAPIO  
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

03353463      \*\*Image available\*\*  
FACSIMILE EQUIPMENT

PUB. NO.:        03-016363 [ J P 3016363 A]  
PUBLISHED:      January 24, 1991 (19910124)  
INVENTOR(s):    SUMITA KAZUYUKI  
APPLICANT(s):   NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP  
                  (Japan)  
APPL. NO.:      01-151644 [JP 89151644]  
FILED:          June 13, 1989 (19890613)  
INTL CLASS:     [5] H04N-001/00  
JAPIO CLASS:    44.7 (COMMUNICATION -- Facsimile)  
JOURNAL:        Section: E, Section No. 1052, Vol. 15, No. 135, Pg. 90, April  
                  04, 1991 (19910404)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To eliminate the need for setting the operating mode from an operation panel at each occasion by selecting the operating mode through an interface connected to an external device and the operating panel.

CONSTITUTION: A function selecting the mode is added by using a means informing the fact of an external access to a centronics interface section 2 and an RS-232C interface section 3 to a control section 4. That is, in the case of the printer mode, a data is received through the centronics interface 2 from a host computer, the centronics interface section 2 informs it to the control section 4. Then the control section 4 confirms it that it is not operated in the other mode, and the operating mode is set to the printer mode. Thus, it is not required to set the operating mode from the operating panel on each occasion.

This Page Blank (uspto)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-16363

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

H 04 N 1/00

識別記号

1 0 7 A

庁内整理番号

7170-5C

⑭ 公開 平成3年(1991)1月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑯ 特 願 平1-151644

⑰ 出 願 平1(1989)6月13日

⑱ 発 明 者 住 田 和 之 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

ホストコンピュータと接続する周辺装置としてプリンタモード、スキャナモードを含む複数の動作モードを持つ複合型のファクシミリ装置において、操作パネルからの前記動作モード選択指定する手段と、前記ホストコンピュータと接続する複数のインタフェースに対して前記ホストコンピュータがデータ出力したとき該当するインタフェースに対応する動作モードが選択指定される機能を有することを特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はファクシミリ装置に関し、特にホストコンピュータに接続してプリンタ、イメージスキャナ等の周辺機器として動作するモードをもつ複合型のファクシミリ装置に関する。

〔従来技術〕

従来この種の複合型のファクシミリ装置については、動作モードの選択・指定は、操作パネルからの入力により行っていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述した従来のファクシミリ装置は、動作モードの選択・指定が操作パネルから行なわれる構造になっているので、動作モードを変更する必要があるときは、そのたびにモード選択・指定の操作を行なわなければならないという欠点がある。また、この方式では、装置の動作モードをあらかじめ設定してからでないとホストコンピュータの操作ができないという欠点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のファクシミリ装置は、ホストコンピュータと接続する周辺装置としてプリンタモード、スキャナモードを含む複数の動作モードを持つ複合型のファクシミリ装置において、操作パネルか

らの前記動作モード選択・指定する手段と、前記ホストコンピュータと接続する複数のインタフェースに対して前記ホストコンピュータがデータ出力したとき該当するインタフェースに対応する動作モードが選択・指定される機能を有している。

#### 〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。

1は本装置と接続するホストコンピュータ、2はホストコンピュータ1と接続するためのセントロニクスインタフェース、3はホストコンピュータ1と接続するためのRS-232Cインタフェース、4は本発明の装置全体を制御する制御部、5は本装置の動作に係る設定を行う操作部、6はホストコンピュータから出力されたコードデータを原稿情報に展開するプリンタエミュレータ部、7はホストコンピュータからの命令コードによりスキャナとして動作するスキャナエミュレータ部、8は原稿を走査して電気信号に変換する原稿走査部、

このようにすると、本実施例ではセントロニクスインタフェース部2、RS-232Cインタフェース部3、に外部からアクセスがあったことを制御部4へ通知する手段によってモード選択できる機能を付加し、たとえばプリンタモードの場合ホストコンピュータからセントロニクスインタフェース2でデータを受信すると、セントロニクスインタフェース部2は、それを制御部4へ通知する。これを受けると制御部4は、本実施例の装置が他のモードで動作していない状態（以下アイドル状態と記す）であること確認して動作モードをプリンタモードに設定することができる。

また、セントロニクスインタフェース部2でデータ受信したときアイドル状態でなければ、そのときの動作モードが終了した後プリンタモードに設定される。また、RS-232Cインタフェースにアクセスされたときも同様に、アイドル状態であればすぐにスキャナモードに設定される。また、そのとき他のモードで動作していればそのモードが終了してからスキャナモードに設定される。

9は原稿情報を印字する印字部、10は原稿情報を符号化あるいは復号化するCODEC部、11は相手機との通信を制御する通信制御部である。

12~14は制御部より切替えられるスイッチである。

次に本実施例の動作について説明すると、動作モードとして、以下の4つのモードすなわち、第1はファクシミリモード、第2はプリンタモード、第3はリモートプリンタモード、第4はスキャナモードである。

以上それぞれの動作モードが選択されると、制御部4は以下の様に機能ブロックを接続して選択された動作モードを実行する。第1のファクシミリモードを実行するとき、送信時には8→12→13→10→11、受信時には11→10→14→9、コピー時には8→12→13→14→9。第2のプリンタモードを実行するとき、2→6→13→14→9。第3のリモートプリンタモードを実行するとき2→6→13→14→10→11。第4のスキャナモードを実行するとき8→12→7→3となる。

#### 〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明は、動作モードの選択を操作パネルおよび外部と接続されているインタフェースにより行うことにより、動作モードの設定をいちいち操作パネルから行う必要がなくなり、使いやすくてできるという効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

1……ホストコンピュータ、2……セントロニクスインタフェース、3……RS-232Cインタフェース、4……制御部、5……操作部、6……プリンタエミュレータ、7……スキャナエミュレータ、8……原稿走査部、9……印字部、10……CODEC、11……通信制御部、12,13,14……スイッチ。

代理人 弁理士 内 原 晋



This Page Blank (uspto)